

第15回

学童保育指導員 専門性研究大会

2020年
日時 1月26日(日) 10:00-16:30

会場：京都教育文化センター（詳細は裏面）

一般社団法人「日本学童保育士協会」(「学保士協会」)は、学童保育指導員の専門性を探究し、社会へ発信してきました。学童保育指導員の専門性を確立していくためのカリキュラムを開発し、「学童保育士・基礎」と「学童保育士」の資格認定履修講座を実施してきました。

学童保育指導員は子どもの成長・発達を保障するために、子どもたちの願いに寄り添いながら文化的で豊かな「あそびと生活」を、日々の学童保育の取り組みの中でつくりだそうとしています。子どもたちに安心できる日々の生活と成長・発達を保障する上で学童保育指導員の役割は大きく、指導員自らが専門性を高め、学童保育実践を深める必要があります。

そのためには、指導員の研修や実践の理論化は欠かすことのできない課題です。「学保士協会」がすすめる各種研究会の充実や「資格認定履修講座」は、指導員が自らの専門性を明らかにし、それを向上させる場になっています。

毎年、開催している「学童保育指導員専門性研究大会」もそのひとつです。今年度は15回目を迎えます。

国は、指導員不足を背景に学童保育指導員の配置基準に対して、「従うべき基準」から「参酌すべき基準」へと緩和しました。学童保育の内容を系統的に蓄積し、子どもの命と安全を守るためには「放課後児童支援員」の複数配置は不可欠です。

今、学童保育指導員の専門性がないがしろにされようとしている中であって、改めて学童保育指導員の専門性の内容を問い直していくことが求められています。これまで私たちが明らかにしてきた学童保育指導員の専門性と、それにもとづく公的資格の実現を国に求めることが課題になっています。

第15回学童保育指導員専門性研究大会は、改めて指導員の専門性を問う研究の場としていくとともに、広く社会に発信し、社会的合意として広げていくためのものです。

今研究大会に全国から多数、参加されますようご案内いたします。

一般社団法人 **日本学童保育士協会**

主催

〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目2-2-202
TEL 06-6762-8911 FAX 06-6763-3593
ホームページ <http://gakuhoshi.com/>

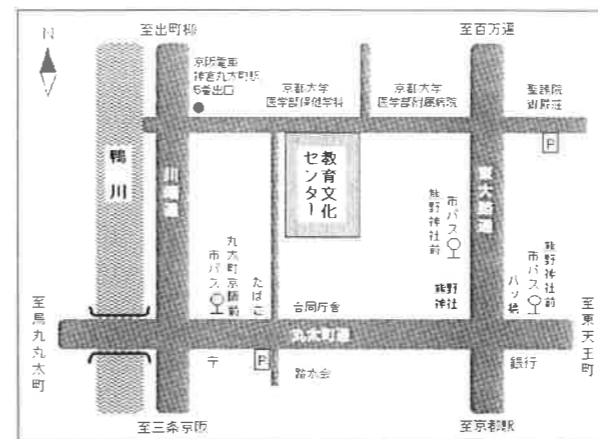


日時 2020年1月26日(日) 10:00~16:30
(受付開始時間 午前9:30~・午後12:30~)

会場 京都教育文化センター

参加費 会員 2,000円 非会員 3,000円 学生 1,000円

(参加費は当日精算でお願いします。当日入会手続きできます)



◆京阪電車「神宮丸太町駅」

交通アクセス

①5番口より徒歩3分

◆JR「京都駅」

②市バスD2のりば206系統で熊野神社前下車、徒歩5分

③JR奈良線で東福寺駅下車、京阪電車に乗換、神宮丸太町駅より①の方法で

④市営地下鉄で丸太町駅下車、市バス202・204・65・93系統で丸太町京阪前下車、徒歩5分

(ただし、②は休日・シーズン期は相当な混雑が予想されますので、③又は④の方法がおすすめです。)

◆阪急電車「四条河原町駅」

⑤徒歩にて京阪電車祇園四条駅より神宮丸太町駅下車、①の方法で

⑥市バス201・31・203系統で熊野神社前下車、徒歩5分

協会に入会を!

一般社団法人「日本学童保育士協会」では、集団づくり研や家族支援研など様々な研究会を展開しつつ、「資格認定履修講座」の全国展開をめざしています。会員による支部活動も積極的に取り組んでいます。ぜひ、入会を!

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13
Tel: 075-771-4221

第15回学童保育指導員専門性研究大会参加申込書

No.	氏名 (ふりがな)	連絡先	自宅 () 職場 () 携帯 ()
住所 〒	いずれかに○印 ・入会希望 ・会員 ・非会員	指導員 () 市区町村) 研究者 保護者 専従 児童館職員 自治体職員 議員 教師 学生	
ご希望の研究テーマ		1 2 3 4 5 6	その他 ()

※ できるだけ事前にお申し込み頂きますようご協力をお願いします。もちろん当日参加もできます。また各テーマは定員になり次第、締め切りますのでご了承ください。

※ 支部のあるところは、支部で取りまとめをお願いします。(お申し込み・お問い合わせ先：表紙下)

★第15回学童保育 指導員専門性研究大会

2020年1月26日(日) 10:00~16:30

午前の部 10:00~12:00

大会委員長あいさつ

基調提案

- ◆ 全体講演 講演 「改めて指導員の専門性を問う」
講師 福田 敦志 (大阪教育大学)

【プロフィール】

「学童保育実践研究会」(大阪保育研究所主催)へ参加し、指導員とともに学童保育指導員の専門性を探求。
著書・2019/05『よくわかるインクルーシブ教育』ミネルヴァ書房
・2018/12『テキスト「学童保育士・基礎」カリキュラムー指導員の専門性を高めるために』日本機関協会
紙出版センター

午 後 の プ ロ グ ラ ム

研究テーマ1 学童保育の生活とあそび
運営委員 代田盛一郎 (大阪健康福祉短期大学)、
札内敏朗 (大阪/指導員)、谷口研二 (京都/指導員)

あそびは学童期の子どもの成長・発達にとって、とても大切な活動であり、学童保育の生活の大きな柱です。具体的なあそび事例の報告をもとに、子どもたちがルールを工夫し発展させながら展開してきた「あそびの実践」を深めます。討論の中では、ルールのある遊びをはじめ、様々なあそびについて交流し学び合います。

(敬称略) 13:00~16:30

研究テーマ2 学童保育における子育て・家族支援
運営委員 伊部恭子 (佛教大学)、伊藤真美子 (大阪/指導員)
館 優子 (大阪/指導員)

子どもの成長・発達を保障していこうとする時、子どもとその家族をどう理解し、働きかけていくのか。学童保育での生活を通して、保護者や子どもを抱えている様々な問題も見えてきます。事例報告をとおして、支援のポイントをおさえ、指導員の仕事としての家族支援・子育て支援について深め合います。

研究テーマ3 障害のある子どもと
学童保育の生活づくり

運営委員 田村和宏 (立命館大学)、
竹中真美 (滋賀/指導員)、中尾光恵 (大阪/指導員)

現在、多くの学童保育に障害のある子どもが在籍しており、一人ひとり、多様な姿を見せています。指導員が障害のあるその子を正しく理解し、周りの子どもたちと繋ぎながら、その子のねがいや要求が反映されるよう集団づくりをすすめていく必要があります。そのための手立てや保育について、実践レポートをもとに検討・交流し、深めていきます。

研究テーマ5 指導員の職員集団とチームワーク

運営委員 奥野隆一 (大阪保育研究所)、森 徹 (京都/指導員)、
島中琴代 (京都/指導員)

「よりよい保育を追求するためにはチームワークの構築が不可欠」です。チームワークづくりの視点や方法について事例報告を受け、各地の状況を出し合い交流、検討します。チームワーク力を保育に発揮できる指導員の職員集団づくりについて考えながら深めます。

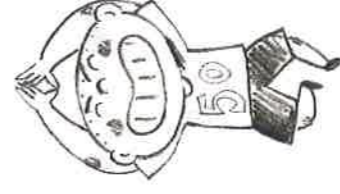


研究テーマ4 学童保育における

生活と集団づくり

運営委員 船越 勝 (和歌山大学)、村上晶代 (石川/指導員)
中西 三保 (大阪/指導員)

子ども一人ひとりに居場所があるか、互いに成長し合える関係がつくれるか、自治的な集団とは、といった視点で交流します。事例報告をもとに子どもの状況や思いを捉え、子どもと指導員、子ども同士の関わりについて、交流をしながら深めます。



研究テーマ6 高学年と学童保育の生活

運営委員 二宮衆一 (和歌山大学)

藤枝佳記 (兵庫/指導員) 村上 剛 (大阪/指導員)

児童福祉法の改定で、学童保育の対象学年が小学生になり、高学年の学童保育が可能になりました。高学年の特徴も踏まえ、高学年も含めた学童保育の生活について高学年の実態など実践を出し合いながら深め合います。